

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 脳卒中急性期における栄養管理の影響

[研究責任者] 栄養管理室 管理栄養士 荒木 光

[研究の背景]

脳卒中は脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に分けられます。その治療に手術などを行うため、一時的に体に負担がかかるため、それを補う栄養は重要になります。脳卒中の患者さんでは意識がない方や飲み込みが難しくなる方がいます。そのような時、一時的に点滴や管を鼻から胃に入れ、栄養を補います。しかしながら、栄養補給の量や方法について報告は少ない状況です。脳卒中を起こしたばかりの患者さんの栄養を振り返ることで「いつから」「どのくらい」の栄養をとればよいかを検討できるよう本研究を計画しました。

[研究の目的]

脳卒中を起こしたばかりの患者さんの栄養(エネルギー量やタンパク質量)を「いつから」「どのくらい」とっているか調べ、今後の脳卒中を起こした患者さんの栄養管理をよりよく行うために本研究を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脳卒中(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血)の患者さんで、西暦 2020 年 4 月 1 日から西暦 2024 年 3 月 31 日の間に長崎医療センターで脳卒中の治療(手術)を受けた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日～西暦 2026 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

【患者背景】：年齢、性別、身長、既往歴、入院時の SGA 評価、脳卒中発症推定日、

【身体所見】：体重、排便状況、尿量、ADL、浮腫の有無

【血液所見】：血液検査結果 【治療】：術式、原疾患に対する投与薬剤、併用薬剤

【栄養素摂取量およびその経路】：推定必要栄養量、推定摂取栄養量、栄養投与経路

【その他】・入院期間・感染症発症率(抗生剤使用日数)・退院時の栄養状態

・退院時の栄養投与経路および摂取量・退院時の転帰(自宅退院、転院、死亡)

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切

に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

#### [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

栄養管理室 管理栄養士 荒木 光

電話番号：0957-52-3121（代表）